

第 67 回接続政策委員会（令和 5 年 11 月 1 日）の議論を踏まえた  
株式会社オプテージへの質問及び回答

問 IP 網への移行後の音声接続料の算定において、NTT 東日本・西日本のメタル IP 電話（固有部分）の接続料を東西別とすべきか、あるいは、引き続き、東西均一とすべきか。

（株式会社オプテージ回答）

◆東西別接続料の料金格差について

NTT 資料（11/1 委員会）の試算において、ユニバーサルサービスであるメタル IP 電話固有部分を東西別接続料とした場合における、ひかり電話と加重平均後の接続料の東西差（比率）は、これまでの加入電話・メタル IP 電話接続料の検討時における試算（東西別とした場合の試算）と同様に大きいと考えます。

メタル IP 電話固有部分においては、IP 網への移行前後で状況に変化がないことから、客観的にみて、メタル IP 電話固有部分の接続料については、これまでの整理（東西均一）でよいのではないかと思います。

◆ユーザ料金への影響について

仮に東西別に接続料が設定された場合においても、NTT 資料（11/1 委員会）の試算の水準からはユーザ料金にまで影響を及ぼすものではないと想定いたします。

◆接続料精算への影響について

IP 網への移行後の発着信トラフィック量や接続料精算への影響を検討予定のため、現時点で評価できておりません。

以上